

あくね 市議会だより

今号の主な内容

学校規模適正化委員会設置決議を採択	2
予算、議会改革、報酬について委員会で活発に議論	3
討論～多くの賛否 活発に～	8
各議員が市政を問う～一般質問～	10



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

二次元コード

阿久根市議会

検索

みどこい秋まつり花火大会

～芸術の秋、深まる～

令和5年11月15日発行 (No.222)



補正予算（第4号）456万円の専決処分を承認。

補正予算（第5号）1億7040万円を可決。

令和5年度一般会計予算の総額は、

128億9982万円

となりました。（P3）

学校規模適正化委員会設置決議を可決

請願

- 阿久根市議会議員の議員報酬についての請願
（「市議会議員報酬の請願」と表記）
審査：議員等報酬調査特別委員会 不採択とすべき（P5）
本会議での討論（P8） **本会議採決** 不採択 P16
- 「障がい者青年学級」の開設に関する請願
審査：総務文教委員会 請願者申し出による取り下げ



陳情

- 電源立地地域対策交付金等に関する陳情
審査：総務文教委員会 不採択とすべき（P4）
本会議での討論（P8） **本会議採決** 不採択 P16
- 開かれた議会への改革を求める陳情
審査：議会運営委員会 不採択とすべき（P3）
本会議での討論（P8） **本会議採決** 不採択 P16
- 阿久根市議会議員の議員報酬の見直しについての陳情
（「市議会議員報酬見直しの陳情」と表記）
審査：議員等報酬調査特別委員会 不採択とすべき（P7）
本会議での討論（P8） **本会議採決** 不採択 P16



決議

- 学校規模適正化調査特別委員会の設置に関する決議
（「学校規模適正化委員会設置決議」と表記）
題名と目的の「規模」を「あり方」に修正する案の提出があり、
本会議で討論（P8） **本会議採決** 原案可決 P16
- 川内原発20年運転延長等調査特別委員会の設置に関する決議
審査：総務文教委員会 否決すべき（P4）
本会議での討論（P9） **本会議採決** 否決 P16



人事

- 教育委員会委員 中野真理氏（再）
- 監査委員 花田清治氏（再）
- 人権擁護委員 高崎良二氏（再）
- 人権擁護委員 濱崎美佐代氏（新）

このページの
二次元コード
を読み取ると、
該当部分の映
像を御覧いた
できます。

○電源立地地域対策交付金等に関する陳情

陳情第6号



所管課への主な質疑

委員 陳情書にある交付金の額は、本来であれば8千680万円になるべきだろうと思うが、そうか。

課長 令和5年度当初予算の額で言えば、そのとおりの額である。

委員 大災害で自衛隊のヘリを要請したときは、どこでも着地させて良いのか。

課長 災害が起こったときと状況で、超法規的な対応は必然的に出てくるのではないかと考えている。

委員 市民がスマホなどでモニタリングポストの



電源立地地域対策交付金（年度別）

単位：千円

	阿久根市	薩摩川内市	いちき串木野市
平成29年度	110,708	1,621,437	108,680
平成30年度	91,687	1,477,258	88,573
令和元年度	79,897	1,306,410	75,074
令和2年度	97,622	1,634,656	96,619
令和3年度	74,489	1,345,972	69,367

立地自治体（赤）と周辺自治体（緑）の電源立地地域対策交付金（年度別）

数値等を見れなくなったときの避難箇所を住民に知らせる対策は。

課長 事故が発生し放射線が漏れる恐れがあるときは非難の準備をしてくださいという命令が出る。その後、一旦は屋内避難をしていただく。国がモニタリングポスト等を確認し、20マイクロシーベルトを超える恐れがあるときは、一時避難の指示が出る。

委員 いざ事故が起こったとき、住民は、情報は？

どうなんだろうとなる。国の指示がないと動けないのか。

委員 要望項目にある交付金の額が不適切である。安全対策、避難体制は、年に1回きちんとやっている。モニタリングポストは、県から冊子で情報提供している。九電との情報交換も市としてやっている。原発に反対しながら交付金が欲しいという矛盾した陳情内容になっている。議会で不採

課長 原子力発電所で災害が起こり、放射線が漏れそうというときには、指示がなくても避難をする可能性はある。それを想定して避難時間などが想定されている。

委員 要望項目にある交付金の額が不適切である。安全対策、避難体制は、年に1回きちんとやっている。モニタリングポストは、県から冊子で情報提供している。九電との情報交換も市としてやっている。原発に反対しながら交付金が欲しいという矛盾した陳情内容になっている。議会で不採

委員 交付金の間違いは、御本人は気づいてないかもしれない。役所等に聞いて数字を当てていると思う。本人たちの意向は、確かに反対しながら交付金は欲しいという趣旨の状態ではあるが、なかなか難しいところである。**委員** 交付金は多いに越したことはない。しかし、現実の問題として、薩摩川内市と一緒というのはできない。薩摩川内市は、工場を誘致するのと同じように、一生懸命頑張ってきた。阿久根市は反対した。そういうことで一区切りついていると見ている。これまで、原発交付金で公民館を作れ、何を作れとしてきたから、賛成もできない。

主な討議

択とした案件に関し、同じ内容で提出されたのに疑問を感じる。

委員 交付金の間違いは、御本人は気づいてないかもしれない。役所等に聞いて数字を当てていると思う。本人たちの意向は、確かに反対しながら交付金は欲しいという趣旨の状態ではあるが、なかなか難しいところである。

委員 交付金は多いに越したことはない。しかし、現実の問題として、薩摩川内市と一緒というのはできない。薩摩川内市は、工場を誘致するのと同じように、一生懸命頑張ってきた。阿久根市は反対した。そういうことで一区切りついていると見ている。これまで、原発交付金で公民館を作れ、何を作れとしてきたから、賛成もできない。

委員 交付金の間違いは、御本人は気づいてないかもしれない。役所等に聞いて数字を当てていると思う。本人たちの意向は、確かに反対しながら交付金は欲しいという趣旨の状態ではあるが、なかなか難しいところである。

○川内原発20年運転延長等調査特別委員会の設置に関する決議

決議第2号



主な討議

委員 議員の幅広い参加を目的とする意味では理解するが、先般決定したとおり、総務文教委員会で審査すべきだと思う。県議会が、常任委員会の中で特別委員会の設置に関する陳情2件を否決した。県がそういう判断をしたということも参考にしていいと思う。

参加できない議員は、現地視察など一緒に行けるし傍聴もできる。**委員** 委員会で話して、6月の議会で原発の調査を所管事務調査に上げた何か出てきたときには特別委員会に切り替えていいということまで話合った。

それでも、あなた達は

それでも、あなた達は

それでも、あなた達は

当てにならないと言われたような気がする。そんな屈辱には堪えられない。だからこのままいってほしい。

委員 6月に決定はしたが、やはり重要なことであると思う。重要だからこそ県に陳情が出され、否決された。川内原発は危ないというのは、私個人でも意識にある。だから、総務文教委員会だけで話をするより、全員で考えて討議した方が良いと思う。

委員 20年超に関しては、議員みんなが関心を持つことは当然である。しかし、6月に総務文教委員会で調査をしていくと決めたから日が浅いので、このまま総務文教委員会で調査していけば十分だと思う。

委員 最初の委員会とき、委員長がこの調査を提案され、私も賛同したので、この委員会ですっかり責任を持って務め上げ、それを報告し、全員で諮って決めれば良いと思う。

主な討論

委員 総務文教だけでなく、全議員が考えていくことである。阿久根市は、ほとんどが30キロ圏内に入る。市役所も20キロ圏内。皆で考えて、いろんなことをやっていけば、避難訓練にも参加すれば、いざ起こったときに全議員が対応できると思う。特別委員会を設置するに

賛成したいと思う。**委員** 6月の委員会で決定したとおり、原発に関する調査は総務文教委員会で今後進めていくべきであると思う。総務文教委員会は、その所管のもとに委員会審議を慎重審議しながら決定していきたい。委員外の議員は、本会議で採決に参加でき、委員会の傍聴もでき、現地調査も一緒に行ける。

委員にお願いして質問も可能である。我々は責任を持って、総務文教委員会で審査をしていくべきである。20年超の特別委員会の設置に関しては反対する。

採決の結果、賛成少数により、否決すべきものと決しました。



2011年3月12日に発生した原発事故により立ち入り禁止になっている、福島県双葉郡富岡町の学校の体育館。卒業式の様子がそのままに(2018年10月撮影)

議員報酬調査特別委員会
白石 純一委員長

〇市議会議員報酬の請願

請願第2号



紹介議員への主な質疑

委員 紹介議員が取られたアンケートの回答者の意見を紹介されたが、それによると、議会は何もやっていない、ただ出席して何も仕事をしていないとの話だが、実際にそうか。

紹介議員 何もしていないことはないが、市民に動きは分からないと思う。**委員** 報酬は高いと思うか。

紹介議員 年金生活の方々と比較すると高いと思う。

委員 市民の代表として、市民の平均値に合わせるというのが筋だと思うが、

どう考えるか。**紹介議員** 私もそう思う。**委員** 市民に、議員・議会の活動を説明されているか。

紹介議員 説明はしているつもりだが、その中でこの趣旨の声を聞く。30万円が高いとは思ってない。どういう意味で2名減になったのかを問われている。

委員 前回の報酬等の委員会の成り行きなどは、議会の中でも、インターネットでも公開されていた。当時の議員、議会が市民への周知をしていなかったというのは間違いで、訂正すべきでは。

紹介議員 私は見ていたが、パソコンで見れない方、何が起きているか知らない市民もいる。**委員** アンケートは何名ぐらいに配られて、回収率はどれぐらいだったか。

紹介議員 全世帯に配っている。集計は別の者がしており、自分では回収率は把握していない。

請願者への主な質疑

委員 報酬を4万円引上げたことが高いと思われるのか。それとも、そもそも報酬を上げること自体がいかなものかと思われるのか。

請願者 定数が減った分を私たちによせとの大義名分は無いのではないかとということだけを言っている。

委員 住民説明会を開いてと書いてあるが、その説明会は議員報酬に特化した説明会か。

請願者 議員報酬に特化した説明会にできたら、そのようにやっていただきたい。

委員 住民に説明する場合は、議員と語る会で丁寧な説明をすることは、よしとするか。

請願者 しつかり答えられる議員の態度が必要。特化したことでなくてもいい。

委員 住民合意は具体的にどういった形をもって合意ということができると考えるか。

議員報酬 改定前の他市との比較

(令和2年12月31日現在)

(1) 全国の小規模な市（人口1万～3万人。総数107市）

順位	市名	報酬月額	議員定数	人口	備考
1	和歌山県有田市	420,000	15	27,240	
	平均値	319,037	15.7	23,836	
99	鹿児島県阿久根市	263,000	15	19,842	
107	熊本県阿蘇市	248,500	20	25,481	

令和2年12月31日現在

(2) 九州内で阿久根市に類似する市（人口1.8万～2.2万人。総数5市）

順位	市名	報酬月額	議員定数	人口	備考
1	佐賀県多久市	345,000	15	18,714	
2	大分県竹田市	340,000	16	20,855	
	平均値	305,400	15.0	19,740	
3	宮崎県えびの市	304,000	15	18,811	
4	鹿児島県枕崎市	275,000	14	20,479	
5	鹿児島県阿久根市	263,000	15	19,842	

令和2年12月31日現在

(3) 鹿児島県内の市（総数19市）

順位	市名	報酬月額	議員定数	人口	備考
1	鹿児島市	686,000	45	601,546	
2	霧島市	402,000	26	124,993	
3	鹿屋市	370,000	28	102,200	14年4月から定数28
4	薩摩川内市	370,000	26	93,581	
	平均値	321,374	20.8	75,658	
5	奄美市	321,000	22	42,628	
6	姶良市	303,000	24	77,711	
7	出水市	303,000	20	53,091	
	18市の平均値※	301,117	19.4	46,443	
8	日置市	299,000	22	47,781	13年5月から定数26
9	曾於市	295,000	20	34,423	
10	南さつま市	295,000	18	33,362	13年11月から定数17
11	志布志市	288,100	20	30,646	
12	指宿市	286,000	20	39,751	
13	南九州市	286,000	20	34,151	
14	いちき串木野市	281,000	16	27,251	
15	枕崎市	275,000	14	20,479	
16	伊佐市	266,000	16	25,083	
17	阿久根市	263,000	15	19,842	
18	垂水市	261,000	14	14,038	
19	西之表市	256,000	16	14,954	13年1月から定数14

※ 鹿児島市を除く18の市の平均

令和2年12月31日現在

請願者 住民アンケートが確実。市民全体に配って欲しい。区長会だけでは不十分。

討議

委員 議員の役割は、市議会基本条例で、地域の課題だけでなく、多様な市民の意向を的確に把握し、市民全体の福祉向上

を目指すこと。最も住民の気持ちをちゃんとくみ取っていかないといいけないということであり、それを訴えていきたいと思う。

賛成討論

委員 請願の趣旨は、住民説明会を開き、住民の合意を得てからというこ

とで、住民の声を聞くためにも採択を希望する。

反対討論

委員 アンケートや自分たちの関係者から、議員が報酬に見合うような仕事はしていないんじゃないかという声があったということに非常に憤慨している。報酬に関しては

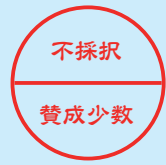
足かけ約6年、議会で議論をしてきている中で、しっかりと調査し、意見も聞きながら判断、議決をし、条例改正を行っている。そういった意味で、この請願については認め

委員 県内19市における最低グループに属していた去年までに戻せという請願であり、それを戻し

た場合、今から新たに議員になろうという若い人、これで生活をしながら議員をやりたいという人に対して負のメッセージになる。そうした意味での請願は適切ではないと判断し、反対する。

採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。

陳情第8号



陳情者への主な質疑

委員 月額4万円の報酬の増額幅に問題があるのか。それとも、そもそも報酬を上げることの問題があるのか。

請願者 4万円上げることは、住民説明を開いた後に可能であれば何とも言わない。

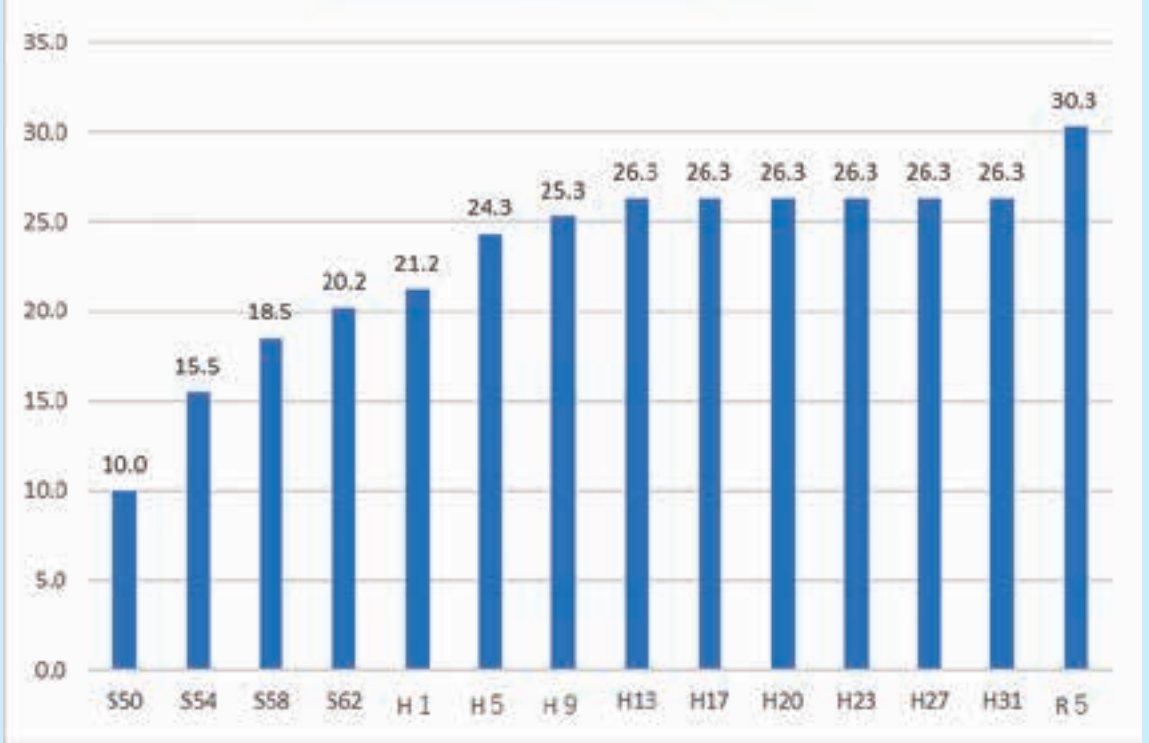
委員 市民にコンセンサスをとった上ですべきだったということか。

請願者 アンケートを77人の区長だけにしたので納得できない。枕崎市は千人に無作為にアンケート調査された上で議員定数、報酬を決めている。

委員 出水市並みは、大半の市民が納得しないということだが、その根拠は人口と税収か。

請願者 市民に、きちんと説明しないで5月の市

阿久根市議会報酬月額の変遷（万円）



報に議員報酬がアップしたと載っていた。20年間も議員報酬が上がってなかったからアップしたと若者が、議員になり手が

委員 議会の出勤日数はいないからアップしたということだが、若手の33歳と45歳の議員候補は落選した。

年間55日しかないとの指摘だが、出席日数によって報酬が決まると考えるか。そのほかには何も活動をしていないというこ

とか。

請願者 決してそうは言っていない。市民の声を聞くべき。市民の声も聞かないでやったことが問題である。

委員 参考人は市民の意見と言われているが、参事人自身はどのように思っておられるか。

請願者 阿久根市は、政務活動費はない。議員は勉強会に行ったりされるからそうしたお金は必要だと思ふ。ただ、議員でこの報酬の議決をしたが、市民にも広めるべきじゃなかったかということをお願いしたい。

委員 陳情事項は増額前に戻すこととなっているが、それはこの陳情の趣旨ではなく、そのプロセスに問題があったのではないか、戻した後にもう一度、新たなプロセスを経て、新たな報酬を決定すべきではないかということところが本意か。

請願者 その意見で私は受け止めている。それが可能であれば。

請願者 阿久根市と出水

市の人口を考えたら、報酬を上げると言い出した人の考えが分からない。

賛成討論

委員 陳情者は、プロセス、順番が市民に分かるようにと言っている。市民にわかる姿勢をつくっていくために、市民目線で見えていくことが議員として必要と思ふ、賛成する。

反対討論

委員 報酬を上げるに関して住民合意が不十分だったというくむべき点は多々あるが、県内最低レベルにまた戻せという骨子である。それに関しては、新たに議員になって、生活しながらここでやっていこうという意欲を削ぐものであり、適切ではないと判断し、賛成できない。

採決の結果、賛成少数で、不採択とすべきものと決しました。

○令和5年度一般会計補
正予算(第4号)

反対 竹原 信一議員

消防団用の携帯投光器。市場には倍以上の性能が千円程度である。提案されたものは重くて使い勝手が悪くて電池式。

学校教室のCO₂検知器。検知器を設置して子どもの健康の為に何かやった気になってはいかない。

駅舎食堂空調改修。エアコン2台の増設で、年間光熱費が更に上がる。市役所は値段付けがでたらめ。130億もの税金を任せることは致命的である。全ての事業を外務機関の仕分けにかけるべきである。

○市議会議員報酬の請
願、市議会議員報酬見
直しの陳情

請願と陳情の2件を一括して、採択・不採択の討論をしています。

不採択 渡辺 久治議員

市議会は行政に対するチェック機構であり、時には厳しい喝を入れられる存在であらねばならない。そのため、有能な人になつてもらわねばならず、報酬もやりがいという意味で重要な要素である。そういう意味でおおむね適当である。

議員は4年に1回、選挙という市民の厳しい洗礼を受けて議場に立っている。もちろん低所得者や恵まれない方々に対する支援は、行政や市議会で論議して改善していかなければならないが、別々に論議すべきことである。

採択 川畑 二美議員

市民の生活がコロナ禍の中で、本当に困窮し、暮らしがとても大変だと言われる。

阿久根市で、民間会社で月額4万円上がるところはないと思う。市民にちゃんと説明して知らせることは今後が必要かと思う。

採択 竹原 信一議員

市の人口は減少し、増税と不景気で市民所得は減り続け、回復のめどがない。議員報酬は市民所得と同程度にして、連動させるべきである。たまたま議員の作業をしているだけということをお忘れはいけない。議員は身の程をわきまえる必要がある。

○電源立地地域対策交付
金等に関する陳情

不採択 渡辺 久治議員

陳情書の最後にある、川内原発を容認するものではない。薩摩川内市民も阿久根市民も命

の価値は同等に値すると考えますという文言には大いに賛同するが、一つの項目を見ると、具体的にとのようないつまでをやつてもらいたいのかが不明確で賛同のしようがない。

一部採択 白石 純一議員

主観を交えての表記部分については、個人の意見であり、委員会も是非を諮るところまでは至っていない。ただし、項目4と6については一般論としてそのとおりかと思う。市も県も努力はしているが、こういった項目については努力をする余地

があるのではないかと思いい、4項目、5項目、6項目の一部採択を提案する。

○開かれた議会への改革
を求める陳情

一部採択 渡辺 久治議員

改革案の1番・2番は、現在、おおむね守られ、なされておられ、改めて開かれた議会への改革には当たらないと判断する。改革案の3は開かれた議会への改革に値すると判断する。したがって改革案3の一部採択を提案する。

採択 竹原 信一議員

かつての議会の浅ましさを、議会の閉鎖性を指摘し、議員がやじで議長に指図する様を見ている。議会として当たり前のことをしてくれという陳情である。開かれた議会になるための、改革への道を歩んでいただきたいという市民の思いを真摯に受け止めていただきたい。

一部採択 白石 純一議員

項目1は、不当な警告はなされていないと理解するので当てはまらない。項目2は、議員全てが勉強を続けなければいけない部分がある。項目3は、一般質問をポスターで周知することは十分に改善点かと思う。2項目め3項目めを一部採択。

○学校規模適正化委員会
設置決議

本件は「修正案」に対し、賛成・反対の討論をしています。

反対 木下 孝行議員

在り方調査特別委員会とすることは論点がかかりにくい。統廃合に特化すべきで教育委員会の設置する協議会と同じ名称が適切であり、学校規模適正化特別委員会とするべきである。

賛成 竹原 信一議員

今は大きな教育の転換点にきている。規模がどうというレベルではなく、

子どもたち・私たちの人生と一緒に暮らしていく人間としてどうあるべきか、そこまで踏み込んだ議論を学ぶべきで、修正案のほうが言葉としてふさわしい。

反対 濱田 洋一議員

本年4月まで議会において学校規模適正化調査特別委員会を設置し検討・協議を重ねてきた。行政は、学校規模適正化協議会の答申を受け、学校規模適正化基本方針を策定し、議会で諮り、修正を加え、現在に至っている。今後も教育委員会は協議会や議会の意思を踏まえた中で、最終的な学校規模適正化基本方針として改めて審議し、方向性を決定するものと思う。したがって前回設置されていた学校規模適正化調査特別委員会の表題が望ましい。

賛成 大野 雅子議員

目的の中に、本市の小学校における適切な規模に関する調査を行うと

あるが、規模だけで本当にいいのだろうかと思っ
ている。前回の協議で、
小規模校の学校の保護
者・子供たちはまだ自分
たちの意見が言えず、大
分反対が出て立ち止まっ
たと思う。教育は、予算
でも何でも、次の世代を
育てる大事な教育の場であ
り、ここだけは削って
はならない。なるべく幅
広く討論、勉強できるよ
うに、修正案に賛成する。

賛成 川畑 二美議員

統廃合した地域は、大
体衰退して、人口も減り、
過疎化しているがゆえに、
小規模の学校を残すとい
うことも大事だと思う。

賛成 渡辺 久治議員

名前はどうでもいいと思
ったが言葉は大事であ
る。適正化と言ったら何
となく型にはめられた、
こうあるべきとなってい
まう気がする。在り方と
した場合は、自由な発想
ができると思う。あまり
こだわってはいないが、
これでまとまっていただ

ければありがたい。

反対 高崎 良二議員

適正化という文言は、
教育委員会が出し、前回
もこのタイトルで話し合
いをしてきた。教育委員
会の適正化委員会と議会
の適正化委員会と同じ課
題で、同じ舞台の中でな
ければ話にならない。
適正化委員会はこれで
作って、学校の統廃合の
中で、問題があるよう
であれば別枠でつくらない
と、最初の目的の適正化
という内容について枠が
外れていくのではないか
と思う。私は適正化委員
会の委員であったが、そ
の中でも教育、通学など

討

～多くの賛



いろいろなことを踏まえ
て協議してきた。それを
考えると、適正化の言葉
の中で議員も話ができる
と思う。教育委員会も議
会も統一していないと、
市民は、議員は何の話
してるんだらうかと、混
乱を招くと思うので、同
じ題で同じことを協議し
ていくのが一番大切だ
と思う。

**○川内原発20年運転延長
等調査特別委員会の設
置に関する決議**

反対 木下 孝行議員

6月27日の総務文教委
員会において、特別委員
会を設置せず、総務文教

委員会で審査する旨の決
定をしたところである。
総務文教委員会が今後十
分に慎重な審査を行い、
また委員以外の方は、傍
聴や現地視察など参加し
て、審査内容を確認する
などできるものと思う。

賛成 渡辺 久治議員

川内原発が事故を起こ
したら、周辺自治体もた
だでは済まないことは、
福島の場合から見ても明
かである。莫大な支援を
受けている立地自治体は
声を出せない。周辺自治
体だからこそ、無関心
にならないように、声を出
そうではないか。阿久根
市議会が特別委員会を設
置することは、住民意識
の無関心を解消する一つ
のきっかけになるものと
考える。

賛成 白石 純一議員

特別委員会を設けてほ
しいという理由は、純粹
に、できるだけ多くの議
員の経験や意見を生かす
ことも必要ということ
である。賛成であれ反対で

あれ、住民が住民により
判断し、考え、議論をし
ていこうということが民
主主義の基本である。よ
り多くの議員で調査特別
委員会を設けることで、
より多くの市民に関心
を持ってもらえるものと思
う。

賛成 竹原 信一議員

日本は原発に対して稼
働を決める権限がなく、
アメリカの指図である。
私たちが何をやろうと原
発は事故があるまで動か
す。政府は国民を逃がさ
ない。この恐ろしい状況
を私たちが本当に確認す
べきである。何とかなる
と思っはいけない。何
ともならない。

委員会で詳しく日本の
実態、恐ろし過ぎるこの
国の正体、何も分からず
親、子どもたちを教育し
ている私たちの状況が一
番の危険である。
この委員会です、そのこ
とをしっかりと確認して
いただきたいと思います。

各議員が市政を問う

一般質問

令和5年第3回定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。

- 1 白石 純一 議員「市役所太陽光」
- 2 渡辺 久治 議員「記念館の経緯」
- 3 大田 基次 議員「市営住宅」
- 4 牟田 学 議員「国道の管理」
- 5 川畑 二美 議員「安心な環境」
- 6 竹之内和満 議員「地域猫活動」
- 7 高崎 良二 議員「鳥獣対策」
- 8 大野 雅子 議員「地域の誇り」
- 9 山田 勝 議員「街の活性化」
- 10 竹原 信一 議員「牛之浜道の駅」
- 11 川原 慎一 議員「教育行政」

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報広聴委員会が編集したものです。

一般質問動画の視聴はこちら

議員写真の左下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。

視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承ください。

台風停電朝4時
主任技術者は

市に常駐せず 到着は午後4時

白石 純一 議員

市役所太陽光

自 庁舎の電気料金が市場の高騰幅を上回って大幅に増えているのでは。
市長 事業性も確保するよう料金設定されている。
自 設備の主任技術者は常駐しているか。台風



台風停電時、従来の蓄電池で市役所2階は電力供給されたが、太陽光蓄電池から給電されるはずの1階と3階は、ほぼ終日停電が続いた。



動画視聴

が接近し停電した8月9日の朝4時はどこにいて市役所に到着したのは何時か。

企画調整課長 常駐していない。台風接近の際は大阪にいた。午後4時過ぎに別の主任技術者が到着し、復旧作業を行った。

自 寄附は6人で、5千600万円、2千300万円など高額寄附された理由は。

市長 犯罪的要素はないが、特段把握していない。

市低出生率、所得と相関

自 市の出生率の低さの要因の一つが市民所得の低さにある可能性が高いと分析するが、見解は。
市長 議員の資料では、確かに相関関係にあると見てとれる。

給食費米飯25円、パン46円、地元米飯増やして

自 米飯とパン食のコストは。

学校給食センター所長 小学校中学年で、米飯が25・38円、パン（コッペパン）が46・92円である。

自 地元産の米飯を増やす考えはないか。

教育長 地産地消、自給率等を含めて今後検討したい。

市長外遊に114万円

自 ブラジル外遊にかかった市長の費用は。

総務課長 航空券代55万3千円等総額114万4千円である。今後不足するであろう費用を補正計上した。

問 仏壇を残すに至った経緯は

答 双方で内容を共有している

渡辺 久治 議員

記念館の経緯

渡辺 旧松木邸が阿久根市に譲渡された当時の土地・建物の買入れ金額は、また、前所有者の仏壇を残すに至った経緯は。

市長 土地は856万9840円、建物は1万4300円。仏壇を残した経緯は、前所有者の要望を受け、これを認めた。契約時に市が了承した事項について商工観光課の



寺島を望む記念館の表座敷

引き継ぐべき内容を覚書として取りまとめ、前所有者と共有している。

渡辺 土地は適正な価格であり、建物は無償譲渡されたものと認識しているが、いかがか。

市長 土地は、市が民間の土地を買収する際の用地補償の基準に基づいて算出した。建物は、固定資産の評価額を基に算出した。築年数が長いので評価額が低くなった。

渡辺 仏壇の中には、松木家の先祖の位牌が安置されており、寺島宗則本人とその妻の位牌も含まれている。記念館を訪れる歴史好きな方は喜ばれ、記念館の歴史的文化的価値を増加させる観点から

も、記念館に置いておくことがふさわしいと考えるが、いかがか。

市長 仏壇等を御覧になって興味を持つ方もいるという話は承知している。いずれにしても、土地・建物の売買契約時の経緯を踏まえ、議会等での議論も踏まえながら、記念館の円滑な管理に努めていくべきだと考えている。

【その他の質問】
・川内原発20年延長について
・防火水槽について
・風テラスを活用した支援について
・旧港周辺の景観について

問 5年以上家財道具が放置

答 法定相続人に撤去依頼

大田 基次 議員

市営住宅

大田 市営住宅に、借家人がいないのに家財道具が放置されている空き家が2か所あると聞いているが、処理の方法は。

市長 解決に向け、法定相続人を調査し、撤去を依頼している状況である。

旧保留地の管理について
で公売地の看板がないところがある。区画によっては雑草が伸びて空き缶やペットボトルなどが散らかっているが、市長は報告を受けているか。

市長 承知している。市有財産であるので、適切に維持管理を行わなければならないと思う。

ふるさと納税について

大田 ふるさと納税制度は、市の財政的な収入源である。納税額の増額にどのように取り組んで



市営春畑住宅

たか。

市長 令和3年度から商工観光課にふるさと納税推進係を設置し、寄附額の増に向けた様々な取組を行ってきた。ふるさと納税は、自主財源が乏しい本市の貴重な財源であり、本市の産業振興にも資する制度であることから、市内事業者と連携しながら、寄附額の増額に取り組みでいきたい。

大田 10月の法改正以降、返礼品の数を増やせるような取組の計画があるか。
市長 事業者を訪問し様々な提案をしている。引き続き市内事業所と連携を図りながら、返礼品の登録の充実に努めていきたい。



動画視聴



国道389号の権限移譲

喫緊の課題の一つと認識

牟田 学 議員

道路管理方法

牟田 国道389号の県から委託される金額も年々減少しており、受託業者は年1回の道路除草すらままならないと困っている。市が権限移譲を受ける必要があると思うが、どのような考えか。
市長 権限移譲も一つの考え方として議論をしていきたい。

空き家対策について

牟田 阿久根市で新築が建たない状況の中で、定住に向けて、空き家活用支援事業を復活させる考



動画視聴

えはないか。

市長 空き家改修は、人口減少対策だけでなく、いろいろな部分に幅広く波及する。空き家改修を含めた対策を検討している。目的に応じた予算のつけ方も必要であり、「たからのまち」マネージャーの議論を見すえながら取り扱いたいと考えていきたいと思っ

障害者支援について

牟田 障害者青年学級の開設に取り組み考えはないか。

教育長

新規の開設は、現状では難しい。現在の阿久根障がい者青年学級の活動における講師等の派遣に関する協力やイベント等のサポートについては、対応可能な内容もあると考える。誰もが共に学び、生きる共生社会の実現に向けては、行政としても各種多様な手だてを講じることが必要であり、今後、関係課、関係団体と協議していく。



国道3号と交わる国道389号。一日中多くの車が通行しており、環境美化を含めた通年での管理が必要。

住みやすいまちづくり

大規模改修での検討

川畑 二美 議員

安心な環境

川畑 脇本地区公民館・中央公民館鶴見分館に小型なエレベーターを設置できないか。
教育長 大規模改修が必要な場合にあわせ、検討していく課題である。

川内原子力発電所の20年延長運転を問う県民投票条例制定請求について

川畑 署名が50分の1を上回ったが、どのように受け止めているか。

市長 県民の関心の高さ、安心安全の確保に対する意識の表われであると重



動画視聴

く受け止めている。

川畑 本市選挙区選出県議に賛成を呼びかけてもらえないか。

市長 県議会議員自らが主体的に判断されるべきものと認識している。

川内原発で事故が発生したときの避難計画について

川畑 全市民が避難するために要する時間は。

市長 北及び北北東の方向では1日と12時間40分。北北東及び北東方向では1日と9時間30分。北北東及び北東方向では2日と6時間10分とされている。



鶴見分館の階段

川畑 病院、介護施設などの利用者の避難はどのように計画されているか。
市長 原子力防災避難施設等調整システムを活用して行うこととされており、配慮が必要な方々の受け入れ調整を行い、避難を実施することとされている。

防災行政無線について

川畑 戸別受信機を無料で設置できないか。

市長 区の広報用放送施設として整備されており、市は整備に要する費用を補助している。引き続き区の施設整備を支援していきたいと考えている。

【その他の質問】

- ・風テラスの安全管理について
- ・子ども医療費・重度心身障害者医療費・ひとり親家庭医療費の病院窓口負担なしについて
- ・学校給食費の無償化について
- ・正規職員と会計年度任用職員について

どのように対処するか

活動への支援内容を検討中

竹之内 和満 議員

地域猫活動

竹之内 飼い主のいない猫の問題に市はどのような対処していくか。

市長 様々な課題があることからどのような対策が有効であるか協議を重ねている。

竹之内 さくらねこ無料不妊手術事業と並行して、市独自で行う不妊・去勢手術等に対する補助金の事業を検討しているか。



飼い主のいない猫を地域で一定の管理をして見守っていく地域猫とする活動が必要では。

学校規模適正化基本方針について

竹之内 令和6年4月から始まる三笠中・折多小・脇本小の小中一貫教育校への移行の準備は進んでいるか。

教育長 三笠中・折多小・脇本小の教職員間ネットワークを構築するとともに、目指す児童生徒の姿等の協議等を行い準備を進めている。共通の学校教育目標を11月中に決定することとしている。

竹之内 小中一貫教育校になると学習面や行事などはどのように変わるのか。

教育長 学習面は、9年間を見通した学習計画を作るので、特に小学校5・6年生から中学校にかけての移行は、順調にいくと思っている。行事面はどのような形で実施するか検討していく。

有害鳥獣対策

捕獲対策をすすめる

高崎 良二 議員

鳥獣対策

高崎 農作物被害に対してどのような対策を行っているか。

市長 農業者自身が購入する防護柵などの経費の一部を補助する事業や、侵入防止柵を地域ぐるみで整備する事業などにより、支援を行っている。また、出没情報があったときには、現地確認を行った上で、有害鳥獣捕



ワナで捕獲されたイノシシ

小中一貫連携型で学ぶのであれば、子どもが同じところに行けるように計画できないか。

教育長 鶴川内中、阿久根中との校区の兼ね合いも考えないといけない。児童と保護者が困り感がないように、どのような方がいかに検討している。

観光振興について

高崎 各団体等の連携を図りながら、同じ目的、状況共有をして取り組んでいくことが観光振興だと思いが、各団体の情報共有ができていないのではないか。

市長 観光業種だけでなく、商工会議所、J A、漁協等を巻き込んで、阿久根の観光に取り組んでいく必要があるということが課題と考えている。新たな組織づくりにについても、検討を重ねていく必要がある時期に来ていると考えている。

学校規模適正について

高崎 折多小は3校に分かれる状況が続いている。



動画視聴



市民環境課長 今の状況では足りないのですが、今年度予算の範囲内で増やしていきたい。

市民環境課長 実施の時期について正確に答えられる状況にはない。

竹之内 市が保有している捕獲器の数を増やしてほしいという要望があるが、増やす予定はあるか。



動画視聴



国道389号と観光の重要性

権限移譲も含め検討

大野 雅子 議員

地域の誇り

大野 国道389号は、日頃雑草が繁茂し、バイク通学生が危険と感じる状況もあったが、この状況をどう感じているか。観光資源をつなぐ道路としての重要性をどう考えるか。

市長 植栽帯や歩道の草が繁茂し、道路景観への影響だけでなく、車両の通行などに危ないとの意見もあり、対策が必要な路線である。脇本地区は貴重な観光資源が数多く存在する地域であり、市外から訪れる方にとって、歴史文化に触れ合え



動画視聴



ボランティアにより景観が守られている。

大野 市内道路の景観を各種団体や住民の協力を得て維持する体制をつくることはできないか。
都市建設課長 市道の管理作業や道路景観の保全を効率的に行っていくため、市が主体で行う清掃活動の補助だけではなく、

これまで市からの補助を受けずに除草作業等を行っている個人や団体の活動についても後押しできないか検討できればと考えている。

若者が住みたいまちについて

大野 本市は少子化が進み令和4年度は出生児数が86人となった。若者の定住対策として、さつま町や水俣市で行っている事例をどのように考えるか。阿久根は子育て支援が充実していることをお知らせすることも大事ではないか。

市長 各自自治体は財源等を勘案しながら立案している。阿久根にはどういったものがふさわしいか検討していく必要があると思っている。情報発信にも力をいれていく必要があると考えている。

青果跡地検討事業

来年2月まで構想を取りまとめ

山田 勝 議員

街の活性化

山田 青果市場跡地活用検討事業の進捗状況はどのようになっていくか。この事業で作成する基本構想の発表はいつになるのか。

市長 6、7月に、大学生によるフィールドワークが開催され、市職員による事業概要の説明や意見交換を行い、私自身も事業に対する思いを述べたところである。10月には2回目のフィールドワークと各学生による活用策の提案がなされる予定である。並行して、地域住民を含めたワークショップ・意見交換を行



動画視聴



青果市場跡地の現在

い、来年2月末までに活用計画の概要、図面等を含めた基本構想を取りまとめることとしている。

寺島宗則記念館の管理について

山田 寺島宗則記念館に前所有者の仏壇が置いてあるのはおかしいと思うが、今でも仏壇が置いてあるのか。

市長 現在も仏壇などが保管されている。強制的

に仏壇の移転を行うことは難しいと考えるが、前所有者や管理業務の委託者と、議会での議論を共有しながら円滑な管理に努める。

山田 公私混同してはならない。市民の財産の中に個人の物を置いてよいのか。

市長 当時、事業を円滑に進めるために、要望にやむなく同意した経緯もある。議員がおっしゃることもよく分かるが、今の段階ではこういう取組を進めていくことしかできないのかなというところである。

【その他の質問】

- ・脇本海水浴場駐車場解 施設等業務委託について
- ・ふるさと納税返礼品の 充実、寄附額の状況について
- ・防衛協会設立後の会員 募集状況について
- ・鳥獣捕獲状況といか かに

事業効果の見通しは

まだ立っていない

竹原 信一 議員

牛之浜道の駅

竹原 サンセット牛之浜景勝地「道の駅」の建設が市民にとって何になるのか。

市長 一定の経済効果が期待できると考えている。

竹原 費用は。経済効果の計算はできているか。

市長 国が整備する施設も含め概算工事費で約30億円。経済効果の見通しは立っていない。



動画視聴



牛之浜道の駅、効果見通しを立てず30億円

竹原 市役所に経営能力及び施設保全能力はあるのか。浪費のあげく廃墟にするのではないか。

市長 運営等を含め民営でやっていただくことを考えている。

博報堂プロダクツ連携

竹原 博報堂プロダクツは過疎解消の実績があるのか。

市長 具体的な成果、実績などは確認していない。

本人通知制度の欠陥

竹原 住民票の写しや戸籍謄本を他人が取れる。市はそのことを通知する制度を作ったが、通知を受けるには本人が役所に登録しなければならぬ。ほとんどの市民はそれを知らず6人ぐらしか登録していない。全市民に通知する方法をとった自治体もある。通知の郵送料金は本来、他人の住民票を取ろうとする者に請求するのが筋。その様な市民を守る制度に変える意思はないか。

籍謄本を他人が取れる。市はそのことを通知する制度を作ったが、通知を受けるには本人が役所に登録しなければならぬ。ほとんどの市民はそれを知らず6人ぐらしか登録していない。全市民に通知する方法をとった自治体もある。通知の郵送料金は本来、他人の住民票を取ろうとする者に請求するのが筋。その様な市民を守る制度に変える意思はないか。

市長 この制度の分かりやすい周知広報に努めていきたいと考えている。

竹原 みんなに通知することにより強い犯罪抑止効果が生まれると思わないのか。

第1副市長 様々な課題もあり、引き続き研究をさせていただきたい。

【その他の質問】

・国道389号の除草問題

・絵画紛失問題への対応と教育長の発言について

特別支援学級について

特別支援教育の充実を図る

川原 慎一 議員

教育行政

川原 本市の各学校の特別支援学級では、どのような取り組みが行われているか。

教育長 各学校は、特別支援学級に在籍している子どもの学習面や生活面の状況等を把握し、個別の教育支援計画と指導計画を作成している。この計画には保護者の意向も反映されており、子ども



動画視聴



や保護者の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行っている。特別支援学級に在籍する児童生徒も学習指導要領に定められた各教科の目標を達成する必要があることから、必要に応じて特別の教育課程を編成し、障害による学習又は生活上の困難の克服と自立を図るため、自立活動の指導を行っている。子どもによっては、成長することによって、困り感が軽減されることもあることから、計画的に教育相談や発達検査等を実施し、子ども一人一人の状況等に

応じた対応を取っており、

教育相談等の結果によっては、通常の学級に学びの場を移して学習する子どももいるところである。**川原** なぜ特別支援教育を進める必要があるのか。**教育長** 障害を早期に見し、早期から発達に合った必要な支援を行うことが、その後の自立や社会参加に大きな効果があり、また、障害のある子どもを支える家族に対する支援という側面からも大きな意義があると考えている。

川原 本市の特別支援教育をどうしていくべきか。**市長** 障害者に温かいまなこを指し、支援が必要な子どもたちに対してもしっかりと、社会に出るよう

に對して受け入れるような雰囲気・社会づくりに努めていきたい。

【その他の質問】

・本市の小・中学校の教育環境について

・株式会社博報堂プロダクツとの地域活性化包括連携協定について

令和5年第3回定例会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名 (議席番号順)													議決結果	
		高崎良二	竹之内和満	大野雅子	渡辺久治	川畑二美	白石純一	川原慎一	竹原信一	大田基次	牟田学	木下孝行	山田勝	濱田洋一		仮屋園一徳
報第8	専決処分の承認について (令和5年度阿久根市一般会計補正予算(第4号))	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	承認
議第61	教育委員会の委員の任命について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	同意
議第62	監査委員の選任について	投票 : 賛成12 ・ 反対1													-	同意
議第63	人権擁護委員の候補者の推薦について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	同意
議第64	人権擁護委員の候補者の推薦について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	同意
議第65	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の変更及び同組合理約の変更について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
議第66	令和5年度阿久根市一般会計補正予算(第5号)	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	-	可決	
議第67	令和4年度阿久根市水道事業会計剰余金の処分について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	可決
請第2	市議会議員報酬の請願	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◇	◇	◆	◆	◆	-	不採択	
陳第6	電源立地地域対策交付金等に関する陳情	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◆	-	不採択	
陳第7	開かれた議会への改革を求める陳情	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◆	◆	-	不採択	
陳第8	市議会議員報酬見直しの陳情	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◆	-	不採択	
決第1	学校規模適正化委員会設置決議に対する修正案	◆	◆	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◆	◆	-	否決	
	学校規模適正化委員会設置決議	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	-	可決	
決第2	川内原発20年運転延長等調査特別委員会の設置に関する決議	◆	◆	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◆	◆	-	否決	

【表の見方】 議：議案 請：請願 陳：陳情 意：意見書 *：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 -：表決権なし
・仮屋園一徳議員は議長職のため議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

12月定例会のお知らせ

- 11月 29日 本会議 (提案説明・質疑)
 - 12月 4日 本会議 (一般質問)
 - 5日 本会議 (一般質問)
 - 6日 委員会 (予算・議案等)
 - 7日 委員会 (予算・議案等)
 - 18日 本会議 (審査報告・表決)
- ※変更になる場合があります。

議会を傍聴してみませんか



議会中継はこちらを読み取ってください。 →



過去の中継録画はこちらを読み取ってください。 →



市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。グループ活動や学習の機会にぜひ傍聴にお越しください。

来られない方は、市ホームページ内、市議会ページの議会中継、中継録画をご利用ください。

※ 3階の車椅子傍聴席も利用していただけます。なお、一般傍聴席は4階です。

議員になり約半年、手探りの活動の中で「採決」という言葉の重みを日々感じる。

議会の判断が、阿久根市の将来に大きく影響することは間違いない。

議員は、常に中立・公正・公平という意識の元に判断すべきだが、市民全員の賛同を得ることは難しい。

時には批判を承知で決断することもあり、目先で考えるとそれでいい場合もあるが、将来を考えるとよくない場合もある。議員は常にプレッシャーとの闘いだ。

一つだけ言えるのは、全議員が「市民生活向上」のために全力で取り組んでいるということである。

(委員 高崎 良二)

委員から一言

発行	阿久根市議会
作成者	広報広聴委員会
委員長	川原 慎一
副委員長	白石 純一
委員	高崎 良二
委員	大野 雅子
委員	川畑 二美
委員	竹原 信一